

7289 リサーチ第4弾  
マンションリサーチ報告書  
【幸町】

平成28年1月  
浪速区まちづくりセンター


## I 調査の概要


### ■ 調査の目的

浪速区まちづくりセンターでは、区内の地域活動協議会の運営・会計支援とあわせて、多くの区民のみなさんに地域活動への関心を高めて参加へとつなげていく目的で、地域活動の研究をおこなっており、その成果は研究会「7289(なにわ区)ラボ」や情報誌「7289 ラブ」等で発信している。

今年度は、浪速区の人口の約9割が共同住宅で暮らしているという地域の特性に着目し、地域活動への参加の実態や、今後の連携の可能性を考えるため、「集合住宅居住者の声を聞く」ためのアンケート調査を実施した。今回は、最初の段階として区内の分譲マンション居住者を対象とした。分譲マンション居住者は、住宅の購入(＝ローン)というかたちで浪速区に一定期間暮らす意思を持った層であり、地域活動への関心が高いことが期待できるからである。

### ■ 調査までの流れ

4月	調査計画立案／調査地域の絞り込み／一定の床面積・戸数のマンションのリストアップと地活協ごとのマンション分布の調査 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>エリア別の中古マンション単価ランキングデータを参考にマンションリストを作成。 特徴として、以下のことが分かった。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・戸数や平均価格帯で、50～200戸の中規模マンションが全体の半数</li><li>・地域別戸数では、幸町地域、難波元町地域、塩草地域の3地域で特に多い</li><li>・築年数が15年以上経過しているマンションが全体の約6割</li></ul></div>
5月	・調査対象をファミリー向け分譲マンションとし、ピックアップしたマンションリストをもとに地域ごとの傾向の分析 ・宅建協会の役員にヒアリングし、区内のマンション事情や調査に向けたアプローチについて情報交換 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>賃貸マンションや収益マンションが集中する地域では住民が定住目的でないため地域への愛着が薄いことや、交通の利便性、病院や商業施設の充実度、校区などでマンション住民の傾向が異なることなどが分かった</p></div> <p>・マンション集積地域の地活協会長に調査概要を伝え、意見交換</p>
6月	・アンケート設問作成作業 ・マンション集積地域の地活協会長に調査概要を伝え、協力してもらえそうなマンションの情報収集 ・リストアップしたファミリー向け分譲マンションのうち、管理会社を通じたアプローチが可能なマンションを訪問。2地域で予定されていた防災訓練の告知を通して、リサーチにつなげるための情報交換 
7月	マンションリストをもとに管理会社やマンション理事長へアプローチ (4地域13棟の分譲マンション管理会社を訪問、アンケートへの協力依頼)

8月	<p>7月にひきつづき管理会社や管理組合に属する地域役員を通して調査を依頼し、承諾を得たマンションから随時調査を開始</p>  <p>地活協の活動を紹介するパンフレット「知ってます? ご近所のチカラ」、区の広報誌「なでしこ」と区広報の送付申込書などを同封し、通常ではなかなか接点を持つことが難しい層に対して、可能な限り多くの地域情報を届けようとつとめた</p>
9月	調査期間終了（調査依頼したマンションの数：22棟）

## ■ 調査の方法

- ・ 調査方法 : ポスティングによる配布  
マンション1階ロビーまたは管理員室前に箱を設置して回収



回収箱の設置と調査協力依頼の貼り紙のようす

- ・ 調査期間 : 2015年8月～9月
- ・ 配布数 : 356通
- ・ 有効回答数 : 100通
- ・ 有効回答率 : 28.1%（有効回答数／配布数）
- ・ 調査地点 : 幸町の分譲マンション6棟

## ■ 回収状況

「N＝」は、その質問の回答者数を表しており、割合を算出する時の母数である。集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも100%にならない場合もある。また、複数回答の質問では、割合の合計は100%を超える。

## ■ 表記について

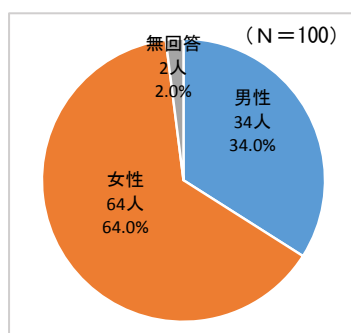
クロス集計表の結果を示す表については、全体の割合より10ポイント以上大きい値を白抜字、5ポイント以上大きい値を黒字で表している。なお、回答者数（N数）が少ないものについては、コメントしていない場合がある。

■ 【マンション別】住民アンケート調査の経過（2015.9月）

	マンション名	地域	築年月	総戸数	調査概要 説明	調査依頼	依頼への 回答	アン ケート実 施	実施期間	配布数	回収数
1	進和難波ハイライフ	幸町	1981年12月	106	地活協会長、町会長	町会長に同行いただき、管理員に概要説明し、協力依頼	有	○	8/27-9/2	106	14
2	M' プラザ難波駅前	幸町	1999年2月	82	地活協会長、町会長	町会長に同行いただき、管理員に概要説明し、協力依頼	有	○	8/18-8/24	82	20
3	ウィンザーハイム難波	幸町	1981年3月	57	地活協会長、町会長	地活協会長に同行いただき、管理員に概要説明し、協力依頼	有	○	8/4-8/10	57	28
4	ロータリープラザ難波	幸町	1998年8月	48	地活協会長、町会長	地活協会長に同行いただき、管理員に概要説明し、協力依頼	有	○	8/4-8/10	48	16
5	パシフィック難波グラシア	幸町	2001年5月	36	地活協会長、町会長	町会長から紹介いただき、管理員に面会し、協力依頼	有	○	8/21-8/27	33	11
6	ルナコート難波WEST	幸町	2002年12月	30	地活協会長、町会長	地活協会長に同行いただき、管理員に概要説明し、協力依頼	有	○	8/4-8/10	30	11
7	マンハイム難波	幸町	1980年1月	68	地活協会長、町会長	マンション在住の地域役員を通じてマンションに依頼	無	×	-	-	-
8	メゾン難波	幸町	1977年6月	51	地活協会長、町会長	地活協会長からマンションに依頼	無	×	-	-	-
								6		356	100

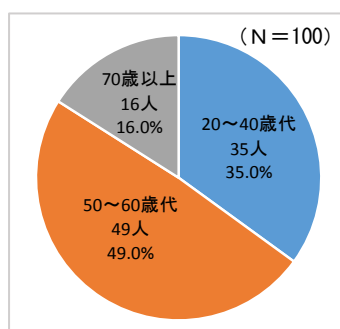
## II 回答者の属性

### (1) 性別



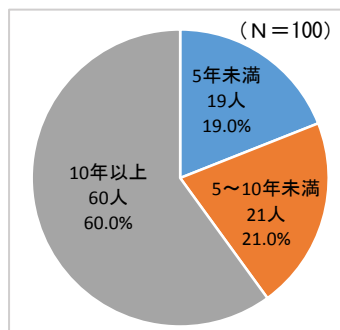
・「男性」が34.0%、「女性」が64.0%で、回答者の6割が女性であった。

### (2) 年齢



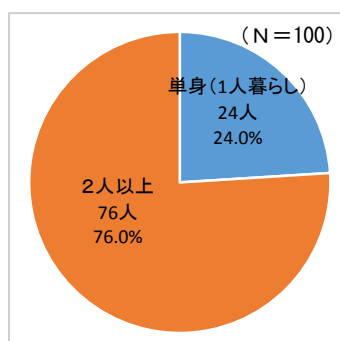
・「20~40歳代」が35.0%、「50~60歳代」が49.0%、「70歳以上」が16.0%となっており、「50~60歳代」が最も多くなっている。

### (3) 居住年数



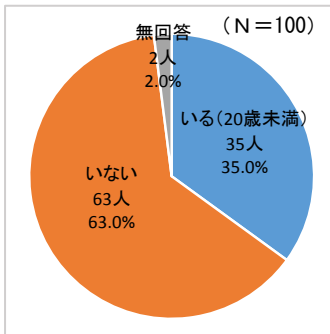
・「5年未満」が19.0%、「5~10年未満」が21.0%、「10年以上」が60.0%で、「10年以上」が6割となっている。

### (4) 家族構成



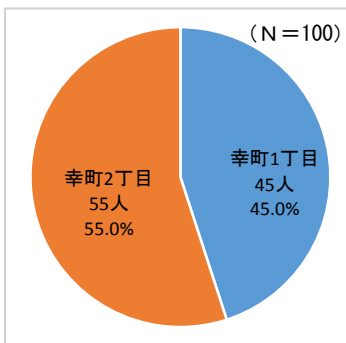
・「単身(一人暮らし)」が24.0%、「2人以上」が76.0%であった。「2人以上」が約8割となっており、分譲マンションという住宅形態から家族と暮らす世帯が多いことがうかがえる。

### (5) 子ども



- ・「いる (20歳未満)」が 35.0%、「いない」が 63.0%となっている。
- ・(4) の家族構成で「2人以上」と答えた 76.0%のうち、約半数が子どもと同居していることになる。

### (6) 居住地域



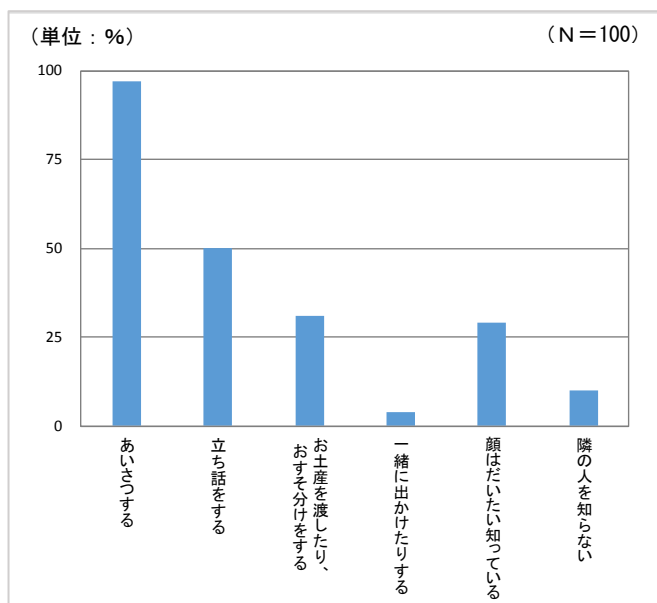
- ・幸町1丁目が 45.0%、幸町2丁目が 55.0%となっている。

### Ⅲ 集計結果

#### 1. マンションでの暮らしについて

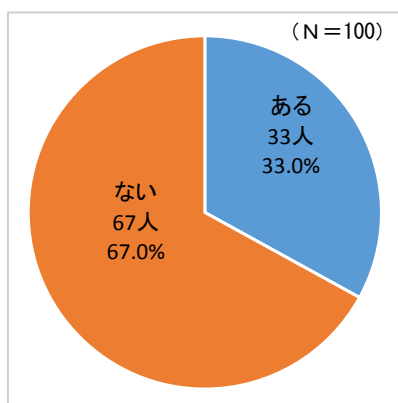
【Q1】マンション内でご近所づきあいはありますか？〈複数回答〉

- ・「あいさつする」が96.9%と最も多く、「立ち話をする」(50.0%)、「おすそわけ」(30.6%)となっている。
- ・家族構成で見ると、単身(一人暮らし)よりも家族構成が2人以上の世帯で近所づきあいをしている割合が高い。あいさつは家族構成や20歳以下の子どもの有無を問わず高い傾向にあることが分かる。総じて、単身世帯よりも2人以上の家族がいる世帯のほうがコミュニケーションは活発であるといえる。



		あいさつする	立ち話をする	お土産を渡したり、おすそ分けをする	一緒に出かけたります	顔はだいたい知っている	隣の人を知らない	
		(上段：人, 下段：%)						
全体		(N=100)	97 (96.9)	50 (50.0)	31 (30.6)	4 (3.1)	29 (27.6)	10 (10.2)
家族構成	単身(一人暮らし)	(N=24)	23 (95.8)	12 (50.0)	6 (25.0)		5 (20.8)	3 (12.5)
	2人以上	(N=76)	74 (97.4)	38 (50.0)	25 (32.9)	4 (5.3)	24 (31.6)	7 (9.2)
子ども(20歳未満)	いる(20歳未満)	(N=35)	35 (100.0)	20 <b>(57.1)</b>	12 (34.3)	3 <b>(8.6)</b>	16 <b>(45.7)</b>	1 (2.9)
	いない	(N=63)	60 (95.2)	28 (44.4)	18 (28.6)	1 (1.6)	12 (19.0)	9 (14.3)

【Q2】マンションや地域の防災訓練に参加したことはありますか？



・「ある」が33.0%、「ない」が67.0%で、参加したことがない人が約7割にのぼっている。

・居住年数で見ると、10年未満の住民では参加率が低いのにに対して10年以上の住民の参加率が高くなっている。10年未満の住民の参加率を上げていくしかけが必要である。

・20歳未満の子どもがいる世帯でも80.0%が「ない」と回答しており、子どもがいても参加率が低いという結果であった。

・参加しない理由としては、「仕事の都合」とあわせて「開催を知らない」という声が多い。

		ある	ない
		(人)	(%)
全体 (N=100)		33 (33.0)	67 (67.0)
居住年数	5年未満 (N=19)	1 (5.3)	18 (94.7)
	5～10年未満 (N=21)	5 (23.8)	16 (76.2)
	10年以上 (N=60)	27 (45.0)	33 (55.0)
家族構成	単身(一人暮らし) (N=24)	8 (33.3)	16 (66.7)
	2人以上 (N=76)	25 (32.9)	51 (67.1)
子ども (20歳未満)	いる (20歳未満) (N=35)	7 (20.0)	28 (80.0)
	いない (N=63)	25 (39.7)	38 (60.3)

<防災訓練に参加しなかった理由>

**仕事**

- ・ 仕事 (20～40 歳代女性)
- ・ 仕事の都合 (50～60 歳代男性)
- ・ 仕事のため (50～60 歳代女性)
- ・ 仕事が休めないから (20～40 歳代女性)
- ・ 仕事をしており、忙しい (20～40 歳代女性)
- ・ 仕事で時間が合わないため (50～60 歳代男性)
- ・ 仕事で参加することができない (50～60 歳代女性)
- ・ 仕事とかさなり、留守にしていたため (20～40 歳代女性)
- ・ 仕事の都合により、時間が合わないため (50～60 歳代男性)

**日程**

- ・ 予定があわない (20～40 歳代女性)



- ・ 時間が合わない (50～60 歳代男性)
- ・ 時間帯があわない (50～60 歳代女性)
- ・ 時間がないから (20～40 歳代女性)

#### 訓練がない

- ・ ないから (20～40 歳代女性)
- ・ 企画がない (50～60 歳代男性)
- ・ 機会がない (50～60 歳代女性)
- ・ 防災訓練の開催がない (50～60 歳代男性)
- ・ ないから、参加していない (50～60 歳代男性)

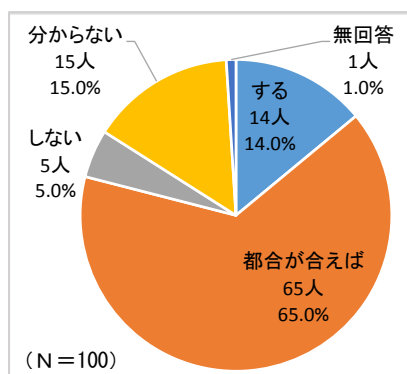
#### 知らない

- ・ 日時を知らない (20～40 歳代女性)
- ・ 訓練してますか？ (50～60 歳代女性)
- ・ あることを知らない (20～40 歳代女性)
- ・ いつしているか知らない (20～40 歳代女性)
- ・ していることを知らない (20～40 歳代女性)
- ・ いつやっているのか分からない (20～40 歳代女性)
- ・ していることを知らなかった (20～40 歳代女性)
- ・ 日にちが分からないので (50～60 歳代女性)
- ・ 日にちなどの情報が分からないから (20～40 歳代女性)
- ・ 防災訓練をやっているのを知らない (20～40 歳代女性)
- ・ 開催を知らない。家にいることが少ない (20～40 歳代女性)
- ・ 告知がないと思う (50～60 歳代男性)
- ・ 案内がない。マンションでは行われていない (20～40 歳代女性)

#### その他

- ・ 小さい子どもがいて、出にくい (20～40 歳代女性)
- ・ 住んでまだ1年半くらいで機会がなかった (50～60 歳代女性)

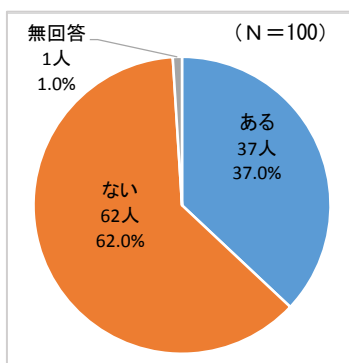
【Q3】区役所では、地域やマンションの集会所で防災勉強会を行っています。お住まいのマンションで開催されたら参加しますか？



- ・「都合が合えば」という回答が65.0%で最も多い。「参加する」と「都合が合えば参加する」を合わせると79.0%となり、約8割は関心を持っていることが分かる。
- ・年齢では20～40歳代で「都合が合えば」と答えた人が68.6%、居住年数5年未満で78.9%にのぼっており、若い世代と居住年数の短い新住民の参加をどう促すかが課題である。

		する	都合が合えば	しない	分からない	無回答
		(上段:人, 下段:%)				
全体	(N=100)	14 (14.0)	65 (65.0)	5 (5.0)	15 (15.0)	1 (1.0)
年齢	20～40歳代 (N=35)		24 (68.6)	2 (5.7)	9 <b>(25.7)</b>	
	50～60歳代 (N=49)	10 <b>(20.4)</b>	32 (65.3)	2 (4.1)	5 (10.2)	
	70歳以上 (N=16)	4 <b>(25.0)</b>	9 (56.3)	1 (6.3)	1 (6.3)	1 <b>(6.3)</b>
居住年数	5年未満 (N=19)		15 <b>(78.9)</b>	1 (5.3)	3 (15.8)	
	5～10年未満 (N=21)	2 (9.5)	13 (61.9)	1 (4.8)	5 <b>(23.8)</b>	
	10年以上 (N=60)	12 <b>(20.0)</b>	37 (61.7)	3 (5.0)	7 (11.7)	1 (1.7)

【Q4】 保育園や幼稚園、学校の行事（運動会など）に参加したことがありますか？

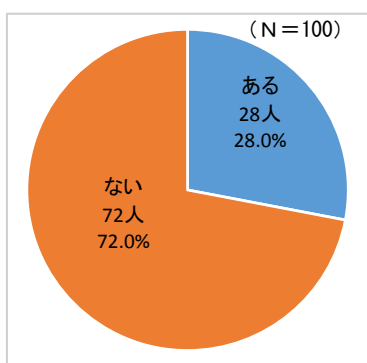


- ・「ある」が37.0%、「ない」が62.0%となっている。
  - ・年齢で見ると、20～40歳代で「ある」と答えた人が57.1%にのぼるほか、20歳未満の子どもがいる世帯では74.3%が「ある」と答えている。若い住民や子どもがいる世帯では学校での行事が交流の機会となっている。
  - ・「ない」の回答が、50～60歳代で69.4%、70歳以上で81.3%、子どもがいない世帯で81.0%といずれも高くなっている。
- <参加したことがない理由>

			ある	ない	無回答
		(上段:人, 下段:%)			
全体		(N=100)	37 (37.0)	62 (62.0)	1 (1.0)
年齢	20～40歳代	(N=35)	20 <b>(57.1)</b>	15 (42.9)	
	50～60歳代	(N=49)	15 (30.6)	34 <b>(69.4)</b>	
	70歳以上	(N=16)	2 (12.5)	13 <b>(81.3)</b>	1 <b>(6.3)</b>
居住年数	5年未満	(N=19)	5 (26.3)	14 <b>(73.7)</b>	
	5～10年未満	(N=21)	7 (33.3)	14 (66.7)	
	10年以上	(N=60)	25 (41.7)	34 (56.7)	1 (1.7)
子ども(20歳未満)	いる(20歳未満)	(N=35)	26 <b>(74.3)</b>	9 (25.7)	
	いない	(N=63)	11 (17.5)	51 <b>(81.0)</b>	1 (1.6)

- ・ 独身（20～40歳代女性、同様意見他1件）
- ・ 仕事の都合（50～60歳代男性）
- ・ 関わりがない（50～60歳代男性）
- ・ 日程が合わない（20～40歳代女性）
- ・ 家族に児童・生徒がいない（50～60歳代男性）
- ・ 小さい子どもがいないので（50～60歳代女性）
- ・ 子どもが成人したので（50～60歳代女性）
- ・ 子ども達は社会人だから（50～60歳代男性）
- ・ 子どもが大きくなって遠のいた（50～60歳代男性）
- ・ 子どもが成人して、つきあいがいい（50～60歳代男性）
- ・ 子どもがいないから分からない（50～60歳代女性、同様意見他18件）
- ・ 公立ではない他地区の学校に子どもが通っていてなじみがうすいため（20～40歳代女性）

【Q5】地域の祭り（ふとん太鼓など）に参加したことがありますか？



- ・「ある」が28.0%、「ない」が72.0%となっている。
- ・年齢では「70歳以上」、家族構成では「単身（一人暮らし）」、また「20歳未満の子どもがいない」という世帯で「ない」と答えた割合が高くなっており、地域とのつながりが薄いようである。
- ・参加しない理由として、「開催を知らない」という声が多く、地域の情報がいきわたっていない実態が分かる。

		ある	ない
段: %)	(N=100)	28 (28.0)	72 (72.0)
	(N=35)	16 <b>(45.7)</b>	19 (54.3)
	(N=49)	11 (22.4)	38 <b>(77.6)</b>
	(N=16)	1 (6.3)	15 <b>(93.8)</b>
らし)	(N=24)	2 (8.3)	22 <b>(91.7)</b>
	(N=76)	26 <b>(34.2)</b>	50 (65.8)
前)	(N=35)	19 <b>(54.3)</b>	16 (45.7)
	(N=63)	9 (14.3)	54 <b>(85.7)</b>

<参加したことがない理由>

知らない

- ・ 知りません（20～40歳代女性、他同様意見2件）
- ・ 場所等よく知らない（50～60歳代女性）
- ・ 祭りがあることを知らない（20～40歳代女性）
- ・ 日にちを知らなかった（50～60歳代女性）
- ・ いつなのか知らない（50～60歳代女性）
- ・ 開催日を知らないから（50～60歳代女性）
- ・ 実施されていることを知らない（50～60歳代男性）
- ・ いつどこでやってるか知らない（20～40歳代女性）
- ・ 他区からの転入であまり知らない（50～60歳代男性）

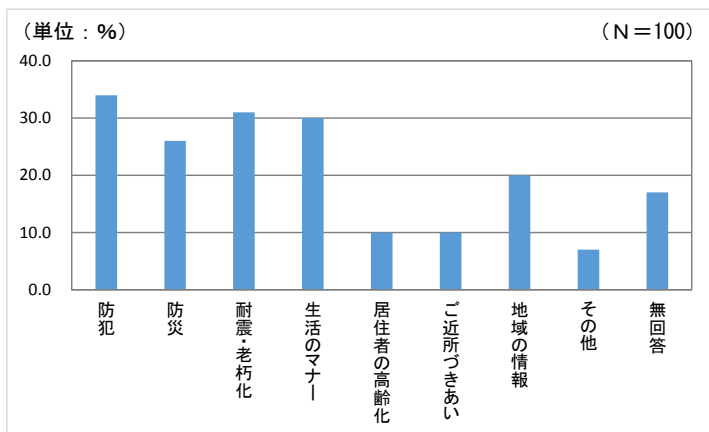
その他の理由

- ・ 仕事（20～40歳代女性、他同様意見2件）
- ・ 暑くて（20～40歳代女性）
- ・ 見には行く（50～60歳代男性）
- ・ 時間がない（50～60歳代女性、他同様意見1件）
- ・ 日時が合わないから（50～60歳代女性）

- ・ 参加要請がない (50～60 歳代男性)
- ・ 子どもがいない (50～60 歳代女性)
- ・ 興味がなから (70 歳以上男性)
- ・ 関わりがないため (20～40 歳代男性)
- ・ これといったきっかけがない (50～60 歳代男性)
- ・ 子どもが成人したので (50～60 歳代女性)
- ・ 祭りに遊びに行くが、みこしをひいたり子どもが興味を持たなかった (20～40 歳代女性)

【Q6】今、お住まいのマンションで気になっていることは何ですか？＜複数回答＞

- ・ 「防犯」が 34.0%と最も多く、「耐震・老朽化」(31.0%)、「生活のマナー」(30.0%)となっている。
- ・ 居住年数が5～10年未満では「防犯」と「生活のマナー」がともに 47.6%と最も高く、20歳未満の子どもがいる世帯では「防犯」(45.7%)となっている。

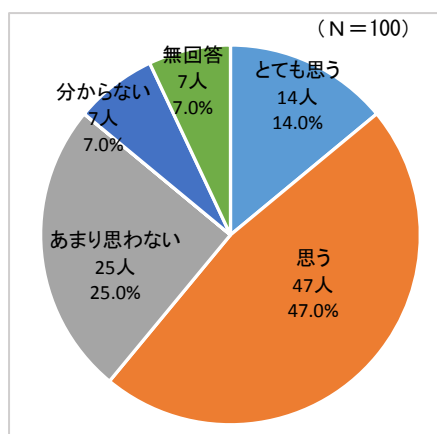


		防犯	防災	耐震・老朽化	生活のマナー	居住者の高齢化	ご近所づきあい	地域の情報	その他	無回答
		(上段：人，下段：%)								
全体	(N=100)	34 (34.0)	26 (26.0)	31 (31.0)	30 (30.0)	10 (10.0)	10 (10.0)	20 (20.0)	7 (7.0)	17 (17.0)
年齢	20～40歳代 (N=35)	13 (37.1)	8 (22.9)	13 <b>(37.1)</b>	10 (28.6)		2 (5.7)	6 (17.1)	4 (11.4)	9 <b>(25.7)</b>
	50～60歳代 (N=49)	17 (34.7)	14 (28.6)	12 (24.5)	17 (34.7)	7 (14.3)	8 <b>(16.3)</b>	10 (20.4)	3 (6.1)	6 (12.2)
	70歳以上 (N=16)	4 (25.0)	4 (25.0)	6 <b>(37.5)</b>	3 (18.8)	3 <b>(18.8)</b>		4 <b>(25.0)</b>		
居住年数	5年未満 (N=19)	2 (10.5)	3 (15.8)	5 (26.3)	4 (21.1)		3 <b>(15.8)</b>	5 <b>(26.3)</b>	1 (5.3)	8 <b>(42.1)</b>
	5～10年未満 (N=21)	10 <b>(47.6)</b>	7 <b>(33.3)</b>	5 (23.8)	10 <b>(47.6)</b>	2 (9.5)	2 (9.5)	5 (23.8)	5 <b>(23.8)</b>	2 (9.5)
	10年以上 (N=60)	22 (36.7)	16 (26.7)	21 (35.0)	16 (26.7)	8 (13.3)	5 (8.3)	10 (16.7)	1 (1.7)	7 (11.7)
子ども (20歳未満)	いる (20歳未満) (N=35)	16 <b>(45.7)</b>	13 <b>(37.1)</b>	14 <b>(40.0)</b>	8 (22.9)	2 (5.7)	3 (8.6)	8 (22.9)	3 (8.6)	5 (14.3)
	いない (N=63)	17 (27.0)	12 (19.0)	17 (27.0)	21 (33.3)	8 (12.7)	6 (9.5)	11 (17.5)	4 (6.3)	12 (19.0)

<その他>

防音（20～40 歳代女性）／ペット（50～60 歳代女性）／車の騒音（50～60 歳代男性）／防災グッズ（20～40 歳代女性）／ゴミの捨て方（20～40 歳代女性）／ヒートアイランド現象（20～40 歳代女性）／退去する住人が多くなってきたこと（50～60 歳代男性）

【Q7】マンション内や、マンション周辺の住民とのつながりは必要だと思いますか？



・「とても思う」が14.0%、「思う」が47.0%となっている。合わせると61.0%となり、6割がつながりの必要性を感じている。

・性別で見ると、「とても思う」、「思う」と答えた女性が65.7%に対して、男性では50.0%となっており、男女の意識には差があることが分かる。

・20歳未満の子どもがいる世帯では82.9%が「とても思う」「思う」と感じているのに対して、子どもがいない世帯では31.7%が「あまり思わない」と回答しており、子どもの存在がつながりを意識するのに一定の役割を果たしていることが分かる。

・理由（自由記述）としては、災害や高齢化などの直面した際の共助の必要性を挙げる回答が目立つ。

		とても思う	思う	あまり思わない	まったく思わない	分からない	無回答
		(上段:人, 下段:%)					
全体		14 (14.0)	47 (47.0)	25 (25.0)		7 (7.0)	7 (7.0)
性別	男性	5 (14.7)	12 (35.3)	12 (35.3)		3 (8.8)	2 (5.9)
	女性	9 (14.1)	33 (51.6)	13 (20.3)		4 (6.3)	5 (7.8)
居住年数	5年未満	1 (5.3)	11 (57.0)	5 (26.3)		2 (10.5)	
	5～10年未満	2 (9.5)	11 (52.4)	4 (19.0)		2 (9.5)	2 (9.5)
	10年以上	11 (18.3)	25 (41.7)	16 (26.7)		3 (5.0)	5 (8.3)
子ども (20歳未満)	いる(20歳未満)	10 (28.6)	19 (54.3)	5 (14.3)		1 (2.9)	
	いない	4 (6.3)	26 (41.3)	20 (31.7)		6 (9.5)	7 (11.1)

【Q7-1】どんな場面でそう思いますか？

**防犯・防災**

- ・ 防犯面（20～40 歳代女性）
- ・ 防犯・防災（20～40 歳代女性、他同様意見 1 件）
- ・ 事件、事故の防止（50～60 歳代男性）
- ・ 防犯、防災の面で（50～60 歳代女性）

- ・ 防犯・防災を考えたとき（20～40 歳代女性）
- ・ 防犯上、子どもが小さいため（20～40 歳代女性）
- ・ 防犯、子どもへの目（安全）（20～40 歳代女性）
- ・ あまり知らない人がいると不安（50～60 歳代女性）
- ・ 不審者がまぎれこんでも分からない（20～40 歳代女性）
- ・ 防犯面で。困っていたら助けてあげる（20～40 歳代女性）
- ・ 防犯面や、高齢者の方の体調の変化にすぐ気付けるから（20～40 歳代男性）
- ・ 防犯・防災（大阪市内に津波がきたことを知らない人が多い）（50～60 歳代性別不明）
- ・ 不法侵入者が出現しても、居住者かどうか分からないケースが起こる（50～60 歳代男性）

#### **災害や事故など緊急時の助け合い**

- ・ 災害が発生した場合等（50～60 歳代男性）
- ・ 災害時など、何かあった時（20～40 歳代男性）
- ・ 災害の時など協力しあえるから（50～60 歳代女性）
- ・ 何かが起こった時（20～40 歳代女性）
- ・ 何か非常なことがおこった時（50～60 歳代女性）
- ・ 緊急事態など。助け合い（50～60 歳代女性）
- ・ 困った時はおたがいさまの感じ（20～40 歳代女性）
- ・ 助けあいがしやすくなる（50～60 歳代女性）
- ・ 助けあいが色々な場面で必要（50～60 歳代女性）
- ・ 近所の助け合いや情報交換（50～60 歳代男性）
- ・ 緊急事態の時のつながり（70 歳以上女性）
- ・ 共助の取組みには不可欠である（50～60 歳代男性）
- ・ 何かあれば自分も協力できると思うから（50～60 歳代女性）
- ・ 地震の時など。地域とのつながりがあれば安心なので（20～40 歳代女性）
- ・ 火災等の災害があった時には、助け合いが必要だと思うから（20～40 歳代女性）
- ・ 何かあった時に住民のつながりがあれば、助けたり助けられたりできる（50～60 歳代女性）
- ・ 自然災害などがあった時、どういう人が住んでいるのか知っておいたほうがよいと思う。知っておいてもらいたいと思う（50～60 歳代女性）
- ・ どこのだれか分からない不安がある。いざという時に助け合いができるかどうか（50～60 歳代女性）
- ・ 最近、子どものいる家庭が多くなったので、事故や事件が万が一おこった場合に住民とのつながりが必要だと思います（50～60 歳代男性）
- ・ 子どもに関する情報や、互いに助け合えればと思っています（20～40 歳代女性）

#### **見守り**

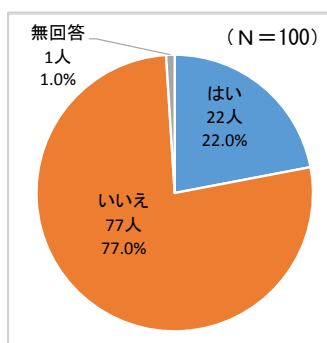
- ・ 孤独死とか虐待が問題になっているので（20～40 歳代女性）
- ・ 子どもがいるので、顔見知りをつくっておきたい（20～40 歳代女性）
- ・ 子どもが1人で出歩くようになると、たくさんの知り合いの目があったほうが安全だと思う（20～40 歳代女性）

## 交流・情報交換

- ・ お互い快適に過ごせるようにするため（50～60 歳代女性）
- ・ 常日頃のコミュニケーションの必要性を感じる（50～60 歳代男性）
- ・ 知らないより知ってるほうがいいな、ぐらいです（20～40 歳代女性）
- ・ 生活していく上で必要な情報を得るには、公も必要ですが、地域からの情報の方が身近です（もちろんウソや誤報もあるが）（20～40 歳代女性）
- ・ 今は近所づきあいがないのであればとも思うが、仕事もあり、なかなか難しい（20～40 歳代女性）
- ・ 自身の努力も欠けているが、人的交流が希薄で社会構成員としての存在感がなく、充実感に乏しい（50～60 歳代男性）
- ・ 子どもがいるので、近所にどんな人が住んでいるのか気になります。学校のこととか教えてもらえたら助かります（20～40 歳代女性）
- ・ 子育ての中で、相談ができるママ友ありがたい。おすそ分けなどたくさん頂き物があり、会話も楽しい（20～40 歳代女性）

## 2. 地域活動について

【Q8】幸町地域活動協議会（以下、幸町地活協）について、知っていますか？



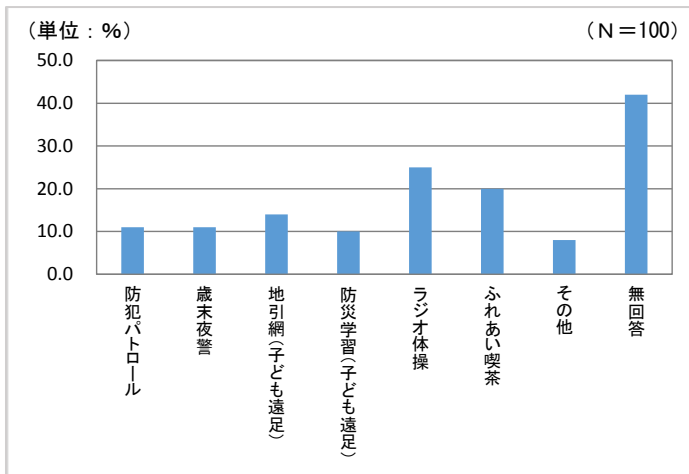
- ・ 「はい」が22.0%、「いいえ」が77.0%となっている。
- ・ 年齢で見ると、20～40 歳代の若い世代で「いいえ」の回答が91.4%になっており、ほぼ知られていないことが分かる。

		はい	いいえ	無回答
(上段: 人, 下段: %)				
全体	(N=100)	22 (22.0)	77 (77.0)	1 (1.0)
年齢	20～40歳代	3 (8.6)	32 <b>(91.4)</b>	
	50～60歳代	15 <b>(30.6)</b>	34 (69.4)	
	70歳以上	4 (25.0)	11 (68.8)	1 <b>(6.3)</b>



【Q9】幸町地活協では下記の行事や活動が実施されています。どれに参加したいですか？<複数回答>

- ・「ラジオ体操」が25.0%と最も多く、ついで「ふれあい喫茶」が20.0%であったが、無回答が42.0%を占めている。
- ・年齢別で見ると、70歳以上で「防犯パトロール」や「ふれあい喫茶」と答えた割合が高くなっている。
- ・20歳未満の子供がいる世帯では「子ども遠足」や「ラジオ体操」と答えた人が多く、親子で参加できる行事に関心が高い。

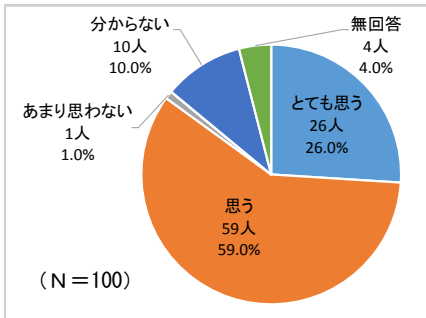


		(上段:人, 下段:%)	防犯パトロール	歳末夜警	(地引子ども遠足)	(防災学習子ども遠足)	ラジオ体操	ふれあい喫茶	その他	無回答
全体		(N=100)	11 (11.0)	11 (11.0)	14 (14.0)	10 (10.0)	25 (25.0)	20 (20.0)	8 (8.0)	42 (42.0)
年齢	20~40歳代	(N=35)	2 (5.7)	3 (8.6)	10 <b>(28.6)</b>	6 <b>(17.1)</b>	11 <b>(31.4)</b>	4 (11.4)	6 <b>(17.1)</b>	13 (37.1)
	50~60歳代	(N=49)	6 (12.2)	6 (12.2)	4 (8.2)	4 (8.2)	11 (22.4)	11 (22.4)	2 (4.1)	23 (46.9)
	70歳以上	(N=16)	3 <b>(18.8)</b>	2 (12.5)			3 (18.8)	5 <b>(31.3)</b>		6 (37.5)
居住年数	5年未満	(N=19)	1 (5.3)	2 (10.5)	2 (10.5)	1 (5.3)	2 (10.5)	1 (5.3)	1 (5.3)	12 <b>(63.2)</b>
	5~10年未満	(N=21)	2 (9.5)	3 (14.3)	3 (14.3)	3 (14.3)	6 (28.6)	4 (19.0)	3 <b>(14.3)</b>	8 (38.1)
	10年以上	(N=60)	8 (13.3)	6 (10.0)	9 (15.0)	6 (10.0)	17 (28.3)	15 <b>(25.0)</b>	4 (6.7)	22 (36.7)
家族構成	単身(一人暮らし)	(N=24)	1 (4.2)	3 (12.5)			4 (16.7)	5 (20.8)	1 (4.2)	14 <b>(58.3)</b>
	2人以上	(N=76)	10 (13.2)	8 (10.5)	14 (18.4)	10 (13.2)	21 (27.6)	15 (19.7)	7 (9.2)	28 (36.8)
子ども(20歳未満)	いる(20歳未満)	(N=35)	4 (11.4)	2 (5.7)	12 <b>(34.3)</b>	9 <b>(25.7)</b>	13 <b>(37.1)</b>	5 (14.3)	6 <b>(17.1)</b>	12 (34.3)
	いない	(N=63)	7 (11.1)	9 (14.3)	2 (3.2)	1 (1.6)	12 (19.0)	14 (22.2)	2 (3.2)	29 (46.0)

<その他>

昔遊び(50~60歳代男性) / 物作り等(50~60歳代男性) / 親子クッキング等(20~40歳代女性) / 参加したいものがない(20~40歳代女性) / 都合が合えば参加したい(20~40歳代女性) / 水遊び、花火大会、いも掘り(20~40歳代女性) / 子どもが友達と遊べる(友達ができる)もの(20~40歳代女性) / クリスマス会、学校でのお泊りキャンプ(堀江小学校がしている)、花火大会(20~40歳代女性)

【Q10】地域の行事に子どもたちが参加することについて必要だと思いますか？

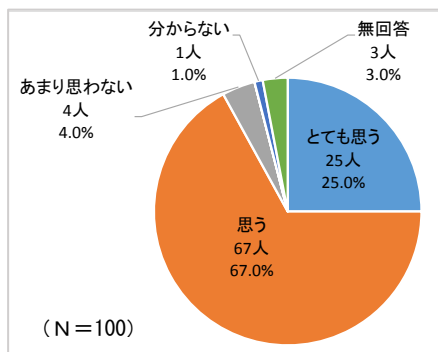


・「とても思う」が26.0%、「思う」が59.0%であった。約8割は子ども達が地域の行事に参加することを必要と感じている。

		とても思う	思う	あまり思わない	まったく思わない	分からない	無回答
(上段:人, 下段:%)							
全体	(N=100)	26 (26.0)	59 (59.0)	1 (1.0)		10 (10.0)	4 (4.0)
年齢	20~40歳代 (N=35)	13 <b>(37.1)</b>	16 (45.7)			5 (14.3)	1 (2.9)
	50~60歳代 (N=49)	11 (22.4)	34 <b>(69.4)</b>			4 (8.2)	
	70歳以上 (N=16)	2 (12.5)	9 (56.3)	1 <b>(6.3)</b>		1 (6.3)	3 <b>(18.8)</b>
子ども(20歳未満)	いる(20歳未満) (N=35)	16 <b>(45.7)</b>	16 (45.7)			1 (2.9)	2 (5.7)
	いない (N=63)	10 (15.9)	41 <b>(65.1)</b>	1 (1.6)		9 (14.3)	2 (3.2)

【Q11】一人暮らしなどの高齢者のために、地域で取り組むことは必要だと思いますか？

のために、地域で取り組むことは必要だと思いますか？

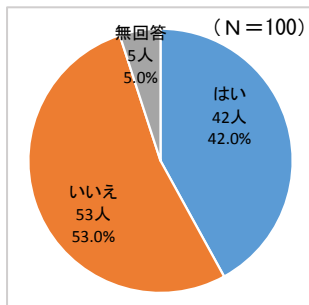


・「とても思う」が25.0%、「思う」が67.0%となっている。約9割が高齢者への福祉の取組みを必要と感じている。  
・年齢別でみると、「とても思う」と「思う」の合計が20~40歳代で94.3%、50~60歳代で100.0%となっており、現役世代で将来への不安を感じていることがうかがえる。高齢者福祉につながる何らかの取組みを今から考えていく必要がある。

		とても思う	思う	の合計 とても思う・思う	あまり思わない	まったく思わない	分からない	無回答
(上段:人, 下段:%)								
全体	(N=100)	25 (25.0)	67 (67.0)	92 (92.0)	4 (4.0)		1 (1.0)	3 (3.0)
年齢	20~40歳代 (N=35)	12 <b>(34.3)</b>	21 (60.0)	33 (94.3)			1 (2.9)	1 (2.9)
	50~60歳代 (N=49)	11 (22.4)	38 <b>(77.8)</b>	49 (100.0)				
	70歳以上 (N=16)	2 (12.5)	8 (50.0)	10 (62.5)	4 <b>(25.0)</b>			2 <b>(12.5)</b>
家族構成	単身(一人暮らし) (N=24)	5 (20.8)	16 (66.7)	21 (87.5)	3 <b>(12.5)</b>			
	2人以上 (N=76)	20 (26.3)	51 (67.1)	71 (93.4)	1 (1.3)		1 (1.3)	3 (3.9)
子ども(20歳未満)	いる(20歳未満) (N=35)	11 <b>(31.4)</b>	21 (60.0)	32 (91.4)	1 (2.9)			2 (5.7)
	いない (N=63)	14 (22.2)	44 (69.8)	58 (92.1)	3 (4.8)		1 (1.6)	1 (1.6)

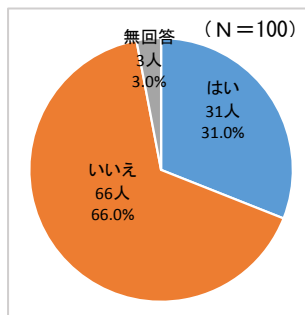
【Q12】 地域でのボランティア活動への参加について、お答えください。

(ア) 相談できる人はいますか？



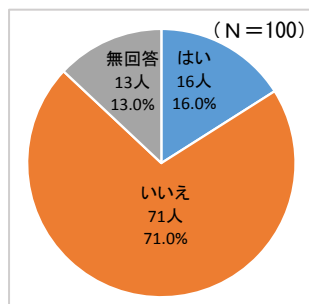
・「はい」が42.0%、「いいえ」が53.0%となっており、およそ5割の回答者が、地域のボランティア活動参加へのつながりを持っていないことが分かる。

(イ) 活動場所（地域の集会所・会館など）を知っていますか？



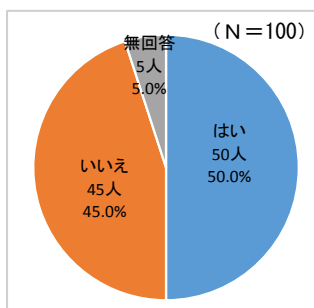
・「はい」が31.0%、「いいえ」が66.0%で、およそ7割の人が地域の施設を認知していないことが分かる。

(ウ) やってみたい活動はありますか？



・「はい」が16.0%、「いいえ」が71.0%となっている。単にやりたい活動のイメージがないのか、現状で満足しているかは不明である。

(エ) 地域行事の情報は入ってきますか？



・「はい」が50.0%、「いいえ」が45.0%となっている。回答の約半数に地域の情報源がない状況である。

【Q12】地域でのボランティア活動への参加について、お答えください。

- ・特に若い世代や居住年数が短い世帯で地域とのつながりが少ないことがうかがえる。
- ・(ア)～(ウ)の問いについて、「いいえ」の回答が「20～40歳代」、「居住年数5年未満」の回答者で高い傾向にあるなかで、(エ)の問いでは「はい」が20～40歳代の回答者でも6割と半数を超えており、地域行事などの情報を入手していることが分かった。
- ・年齢別に見ると、70歳以上で「地域ボランティアへの参加を相談できる人がいない」回答は50.0%である。
- ・居住年数別に見ると、10年以上暮らしている回答者でも「地域ボランティアへの参加を相談できる人がいない」のは45.0%にのぼり、居住年数に関係ないことが分かる。
- ・これから地域活動に触れる機会が増えていくことが予想される若い年代や居住年数の短い世帯にいかん情報を届け、コミュニティをはぐくむ環境をつくれるかが課題である。

		(ア)相談できる人はいますか？			(イ)活動場所を知っていますか？			(ウ)やってみよう活動はありますか？			(エ)地域行事の情報は入ってきますか？		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
(上段:人, 下段:%)													
全体	(N=100)	42 (42.0)	53 (53.0)	5 (5.0)	31 (31.0)	66 (66.0)	3 (3.0)	16 (16.0)	71 (71.0)	13 (13.0)	50 (50.0)	45 (45.0)	5 (5.0)
年齢	20～40歳代 (N=35)	14 (40.0)	21 <b>(60.0)</b>		7 (20.0)	28 <b>(80.0)</b>		6 (17.1)	25 (71.4)	4 (11.4)	22 <b>(62.9)</b>	12 (34.3)	1 (2.9)
	50～60歳代 (N=49)	22 (44.9)	24 (49.0)	3 (6.1)	19 <b>(38.8)</b>	30 (61.2)		9 (18.4)	36 (73.5)	4 (8.2)	25 (51.0)	23 (46.9)	1 (2.0)
	70歳以上 (N=16)	6 (37.5)	8 (50.0)	2 <b>(12.5)</b>	5 (31.3)	8 (50.0)	3 <b>(18.8)</b>	1 (6.3)	10 (62.5)	5 <b>(31.3)</b>	3 (18.8)	10 <b>(62.5)</b>	3 <b>(18.8)</b>
居住年数	5年未満 (N=19)	5 (26.3)	13 <b>(68.4)</b>	1 (5.3)	2 (10.5)	17 <b>(89.5)</b>		4 <b>(21.1)</b>	13 (68.4)	2 (10.5)	7 (36.8)	12 <b>(63.2)</b>	
	5～10年未満 (N=21)	8 (38.1)	13 <b>(61.9)</b>		7 (33.3)	14 (66.7)		4 (19.0)	16 <b>(76.2)</b>	1 (4.8)	10 (47.6)	11 <b>(52.4)</b>	
	10年以上 (N=60)	29 <b>(48.3)</b>	27 (45.0)	4 (6.7)	22 <b>(36.7)</b>	35 (58.3)	3 (5.0)	8 (13.3)	42 (70.0)	10 (16.7)	33 <b>(55.0)</b>	22 (36.7)	5 (8.3)
家族構成	単身(一人暮らし) (N=24)	9 (37.5)	14 <b>(58.3)</b>	1 (4.2)	7 (29.2)	17 (70.8)		2 (8.3)	19 <b>(79.2)</b>	3 (12.5)	12 (50.0)	12 <b>(50.0)</b>	
	2人以上 (N=76)	33 (43.4)	39 (51.3)	4 (5.3)	24 (31.6)	49 (64.5)	3 (3.9)	14 (18.4)	52 (68.4)	10 (13.2)	38 (50.0)	33 (43.4)	5 (6.6)
子ども (20歳未満)	いる(20歳未満) (N=35)	17 <b>(48.6)</b>	16 (45.7)	2 (5.7)	8 (22.9)	26 <b>(74.3)</b>	1 (2.9)	6 (17.1)	24 (68.6)	5 (14.3)	21 <b>(60.0)</b>	11 (31.4)	3 (8.6)
	いない (N=63)	24 (38.1)	36 (57.1)	3 (4.8)	22 (34.9)	39 (61.9)	2 (3.2)	10 (15.9)	45 (71.4)	8 (12.7)	29 (46.0)	32 <b>(50.8)</b>	2 (3.2)

【Q13】幸町地域の防犯・防災対策について、知りたいことや不安に思うこと、取り組んだらよいと思うことなど、自由にお書きください。

**防犯**

- ・ 警察のパトロールを多くしてほしい（50～60 歳代女性）
- ・ 消火器はあるけど、「さすまた」とかもあるといいですね（20～40 歳代男性）

**防災**

- ・ 防災講習および防災訓練の実施（50～60 歳代男性）
- ・ 最近では、防災訓練の日時が合わず参加していない（50～60 歳代女性）
- ・ 幸町は横に長い地域なので、万一の場合の避難場所は徹底しておきたい（50～60 歳代男性）
- ・ 大地震における情報がないため、避難場所や活動する状況が分かりにくい（50～60 歳代男性）
- ・ 幸町3丁目が、地震が発生したら液状化現象が10分以内に起こると聞き、どのような対策をしているのか知りたい（20～40 歳代女性）
- ・ 防災については、最小限のものが揃っているので特段必要ない。水害、火災の際の避難経路表示を整備するだけで良い（50～60 歳代男性）
- ・ たばこのポイ捨てはやめてほしいです。たまにマンションの廊下などで吸い殻を発見するので、火災などが怖いんです（20～40 歳代女性）

**その他**

- ・ 他人の子でもしっかり注意する（目を配る）（50～60 歳代男性）
- ・ 防犯・防災で、子どもでも分かる目印をつくってほしい（20～40 歳代女性）
- ・ どうしても西区とのつながりは必要です。行政が常に連携してほしいです（20～40 歳代女性）
- ・ ラジオ体操、遠足、お世話してくださる方は本当に大変でしょうが、子ども達を地域で見守っていただけることが、子どもがまっすぐ育つ力になっていると思います（20～40 歳代女性）

【Q14】お住いの地域について、ご意見やお気づきの点など、その他ご自由にお書きください。

**防犯（見守り・安全パトロールなど）**

- ・ 学校区、行政区での問題（事件）に対しての振り分けが大変（20～40 歳代女性）
- ・ 子どもの登校時の見守り、ありがとうございます。おかげで世代の違うご近所の方と顔見知りになれたこともよかったです（20～40 歳代女性）
- ・ 幸町の朝の見守り隊（7：50～）で、小学生の集合場所まで保護者が毎朝行なっていますが、複数人が必要でしょうか。交代制などはどうですか。集合場所に大人子ども合わせて数十人いると通行の妨げにもなっています（20～40 歳代女性）

**交通マナーなど**

- ・ 自転車で通行する人が危険である。スマホしながらの自転車走行、素早い自転車通行が危険。歩行者にとって車より危険だ。自転車同士でぶつかっているのもよく見る。桜川交差点での自転車のマナーが悪いのは数年前からある（50～60 歳代男性）

- ・ 通行の安全を重視して一方通行にしたり、車道との区別を持たせるようガードレール等のある歩道を造ってほしいです。幸町には安全な歩道が少ない（ほとんどない）ように感じます（20～40 歳代女性）

#### 美化

- ・ アスファルトばかりで無理とは思いますが、緑化活動推進してほしい。ゴミの散乱、犬の糞の不始末。自転車、歩行者の信号無視。私設ゴミ収集車がゴミから出た水をまき散らせて臭い（50～60 歳代男性）
- ・ アンケート集計後のまちづくりに期待します。現状の美観を保っていききたい（70 歳以上女性）

#### 地域の情報

- ・ なでしこは毎月新聞で読んでいて、とても助かります（70 歳以上女性）
- ・ 行事のお知らせなど、どのようにみなさん知るのでしょか。知り合いなどが全くいないので、誰にも聞くことができないし、不安もあります（20～40 歳代女性）
- ・ 幸町は、学校は日吉小学校の西区で、住まいは浪速区なので、浪速区の情報の中に幸町はあまりなく、情報がいまいち分からない。マンション内のつきあいはあるが、地域の人とのつきあいはなく、地元の人とはほとんど交流はないのでさびしいです（20～40 歳代女性）

#### まちづくり

- ・ 外国人との共生について（50～60 歳代性別不明）
- ・ ひとつでも長所あるまちづくりを（50～60 歳代男性）
- ・ 近所のマンションの方たちとふれあう行事があればと思います（50～60 歳代女性）
- ・ ボランティア活動については参加できる時間がない。子どもが自由に公園でボール遊び等ができない（小さい子がいたり、ホームレスがいたり等）年齢によって遊べる公園を分けてほしい（20～40 歳代女性）
- ・ 浪速区内において、幸町は西区寄りのため、どちらかというとも西区の管轄に近いと思える。かといって、浪速区に在所するため、浪速区と西区双方の報告・連絡・相談が必要と感じている（50～60 歳代男性）

#### IV マンションリサーチからの考察

### 1) 6割が地域の防災訓練に参加したことがありません(Q2)

今後発生が予想される南海トラフ大地震と、それに伴う津波により、浪速区でも大きな被害が予想されています。しかし、住民の備えは万全でしょうか。現状では、子育て世代や土地勘があまりない居住歴5年未満の世帯に情報がいきわたっていない背景から、防災訓練への参加率が低くなっています。「都合が合えば」参加したいと言う気持ちにどう応えるか。参加しやすい方法を探っていく必要があります。

幸町地域は道頓堀川に面していて東西に長く、集合住宅と事業所が混在しています。そのような地域特性から、幸町に関わる人たちが町会ごとの取組みや企業との連携などを一緒に考えていくことでいざという時の助け合いにつながります。

### 2) マンションでの一番の心配ごとは「防犯」(Q6)

暮らしの安全に直結する防犯への関心がもっとも高い結果になりました。「安心」が長く暮らすための条件だといえるでしょう。そのためには日頃のご近所づきあいが大切です。普段から顔見知りであることで、不審者の発見や地域の防犯につながります。

### 3) 6割が住民とのつながりが「必要」だと考えています(Q7)

一般的には「マンションに暮らす人は地域への関心がやすい」と言われていますが、それは先入観だということが分かりました。普段からのおつきあいを通して人間関係をつくり、困ったときには助け合う。この考え方は住宅の形態に関係ありません。ただ、建物や階が違えば知りあう機会が少ないのも事実。マンションならではの知り合いづくりのアイデアが必要です。

### 4) 8割が地活協を知りません(Q8)

様々な事業に取り組んでいる地域活動協議会ですが、その認知度はまだまだ低いようです。「地域のお困りごとに地活協が取り組んでいる」と気付いてもらえるように、地道な活動のアピールが必要です。活動に馴染みのうすい方に、定例活動の年間スケジュール表を案内するなどして、まずは知ってもらうことが重要です。マンション内の掲示板のほか、エレベーター内やエレベーターホールなど、目のつきやすいところでのお知らせも効果的です。

### 5) 参加したい行事は、

#### 1位「子ども向け」、2位「防災・防犯」、3位「福祉」(Q9)

子どもや親子で参加できる行事を企画することで、大人同士の交流の機会も広がります。「防犯・防災」はすべての年代で関心が高く、地域活動の担い手の発掘や参加のきっかけづくりに適しているといえます。「福祉」への関心の高さは、マンション内での高齢化が考えられます。単身世帯の増加で孤独死が社会問題になるなか、マンションとしての対策も求められて



います。集会所を使った「ふれあい喫茶」などと呼ばれるコミュニティカフェを定期的で開催し、周辺の地域住民との交流を図るマンションもあるようです。

今回のアンケートでは、高齢者に対する地域での取り組みの必要性に関する質問（Q11）で回答者の多くが将来への不安を感じていることがうかがえました。子ども・青少年育成の活動とともに高齢者のための取り組みも重要な課題です。

## 6) 必要なことは、いかに若い世代と新しい住民に情報を届けるか

今回のアンケート調査では、回答者の年代と居住年数別での分析もおこないました。その結果、浮かび上がってきた課題は、「子育て中の20～40歳代」と「居住年数5年未満」の回答者が地域に関する情報をほとんど持っていないという実態です。防災・防犯なら、いのちを守るための手立てがないことになり、イベントなら、せっかく企画しても知られていないことになり、「情報発信は1度行えばよい」のではなく、伝わるまで繰り返し粘り強く行う必要があるでしょう。それには、新しい住民をあたたく迎え入れる心意気も大切です。

## 7) 管理組合、管理会社との連携を

今回の調査は、管理組合や管理会社のご理解を得られたからこそ実施することができました。マンションのコミュニティづくりには、情報発信が不可欠で、これらの組合や管理会社が果たす役割は大きいといえます。最近ではコミュニティ活動の活発さがマンションの資産価値につながるとして、共有スペースやイベントを充実させる物件も増えています。浪速区役所は、防災に関する資料や勉強会のノウハウを持っており、数人のグループ活動の場や管理組合の総会などに資料提供や講師の派遣をすることもできるので、マンションでのご近所づきあいのきっかけとして活用したいものです。

### 【事例】浪速区のマンションで実施した取り組み



管理組合と地域で防災セミナーを実施



マンション内の子育て交流会で防犯防災講座を開催。浪速区のご当地ヒーロー「地球戦士ゼロス」から、子どもを犯罪から守る「5つの約束」のお話

【7289（なにわ区）リサーチ】 アンケート回答用紙

☆あてはまる番号に○印をつけてください。

■暮らしのこと

(1) マンション内で、ご近所づきあいはありますか？（いくつでも）

- 1. あいさつする
- 2. 立ち話をする
- 3. お土産を渡したり、おすそ分けをする
- 4. 一緒に出かけたりする
- 5. 顔はだいたい知っている
- 6. 隣の人を知らない

(2) マンションや地域の防災訓練に参加したことがありますか？（1つ）

- 1. ある
- 2. ない（理由： \_\_\_\_\_ ）

(3) 区役所では、地域やマンションの集会所で防災勉強会を行っています。お住まいのマンションで開催されたら参加しますか？（1つ）

- 1. する
- 2. 都合が合えば
- 3. しない
- 4. 分からない



(4) 保育園や幼稚園、学校の行事（運動会など）に参加したことがありますか？（1つ）

- 1. ある
- 2. ない（理由： \_\_\_\_\_ ）

(5) 地域の祭り（ふとん太鼓など）に参加したことがありますか？（1つ）

- 1. ある
- 2. ない（理由： \_\_\_\_\_ ）

(6) 今、お住まいのマンションで気になっていることは何ですか？（いくつでも）

- 1. 防犯
- 2. 防災
- 3. 耐震・老朽化
- 4. 生活のマナー
- 5. 居住者の高齢化
- 6. ご近所づきあい
- 7. 地域の情報
- 8. その他（ \_\_\_\_\_ ）

(7) マンション内や、マンション周辺の住民とのつながりは必要と思いますか？（1つ）

- 1. とても思う
- 2. 思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. 分からない

①または②と回答された方へ

(7-1) どんな場面でそう思いますか？

[ \_\_\_\_\_ ]

(8) 幸町地域活動協議会（以下、幸町地活協）について知っていますか？（1つ）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

(9) 幸町地活協では下記の行事や活動が実施されています。どれに参加したいですか？（いくつでも）

- 1. 防犯パトロール
- 2. 歳末夜警
- 3. 子ども遠足（地引綱）
- 4. 子ども遠足（防災学習）
- 5. ラジオ体操
- 6. ふれあい喫茶
- 7. その他（※こんな行事に参加したい等 \_\_\_\_\_ ）



(春) 子ども遠足（地引綱）



(秋) 子ども遠足（防災学習）



(隔月) ふれあい喫茶

(10) 地域の行事に子どもたちが参加することについて必要だと思いますか？（1つ）

- 1. とても思う
- 2. 思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. 分からない

(11) 一人暮らしなどの高齢者のために、地域で取り組むことは必要だと思いますか？（1つ）

- 1. とても思う
- 2. 思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. 分からない

(12) 地域でのボランティア活動への参加について、お答えください（1つずつ）

- (ア) 相談できる人はいますか？ \_\_\_\_\_ 1. はい 2. いいえ
- (イ) 活動場所（地域の集会所・会館など）を知っていますか？ 1. はい 2. いいえ
- (ウ) やってみたい活動はありますか？ \_\_\_\_\_ 1. はい 2. いいえ
- (エ) 地域行事の情報は入ってきますか？ \_\_\_\_\_ 1. はい 2. いいえ

(13) 幸町地域の防犯・防災対策について、知りたいことや不安に思うこと、取り組んだらよいと思うことなど自由にお書きください。

[ \_\_\_\_\_ ]

(14) お住まいの地域について、ご意見やお気づきの点など、その他自由にお書きください。

[ \_\_\_\_\_ ]

■あなた自身のことについてお答えください。（1つずつ）

- (1) 性別 \_\_\_\_\_ 1. 男性 2. 女性
- (2) 年齢 \_\_\_\_\_ 1. 20～40歳代 2. 50～60歳代 3. 70歳以上
- (3) 居住年数 \_\_\_\_\_ 1. 5年未満 2. 5～10年未満 3. 10年以上
- (4) 家族構成 \_\_\_\_\_ 1. 単身（1人暮らし） 2. 2人以上
- (5) 子ども \_\_\_\_\_ 1. いる（20歳未満） 2. いない

ご協力ありがとうございました（幸町地域活動協議会・浪速区まちづくりセンター）